



遊びのなかで学んでいくこと

こんにちは。今月は体育遊び担当の國田がお話しさせていただきます。

今年も予想以上に残暑が続きましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」とよく言われるように、秋のお彼岸頃からようやく朝夕に涼しさを感じられるようになってきました。幼稚園のお地蔵様のそばには、初めて咲いた彼岸花。いくら残暑が厳しくてもちゃんと秋の彼岸に花をつける彼岸花の生命力と自然の力に感心しながら、確実に秋は訪れていることを実感する今日この頃です。2学期がスタートし、もう1ヵ月が経ちました。園内では各クラスそれぞれの保育と並行して、2週間後に迫った運動会に向けての遊びや活動がくり広げられています。

先日、年少組のあるクラスの全体活動の様子を見ていました。その日は、運動会に向けた取り組みの一部分で、ダンスや身体表現の際によく用いられるポンポンを初めて子どもたちが扱う場面でした。ご存じの通り、ポンポンというのは、手に持ってダンスや表現遊びすることで、その動きや場が華やかになったり、それ自体が子どもの興味を引き、より楽しさが増したりする効果がある、一種の「手飾り」として身体表現の際に昔から広く取り入れられています。木の実幼稚園でも、過去ポンポン含め様々な手具を用いて身体表現やダンスを行ってきました。

ただし、それを「ただの手飾り」としての使い方だけで終わらないのが木の実幼稚園の保育です。ということかと言うと・・・単純に「何かを持ってダンスをする」のではなく、まずは、その「何か（今回はポンポン）」すなわち「モノ」で遊ぶということです。

今回の設定は、先生が連れてきたお友達、その名も「モシャモシャくん」。モシャモシャくんの登場に子どもたちみんなとても嬉しそうに目を輝かせています。先生が「強く持ったり、落としたら、モシャモシャくん怪我しちゃうかもしれないから気をつけてね。」と声をかけると、子どもたちはモシャモシャくんをそっと手にとるなり、まるで赤ちゃんを抱っこするかのよう、大事そうに両腕で抱きかかえています。それを見た担任の先生は「そうそう、そんな風にやさしく、やさしく・・・。」と一言。

ここで私は、なるほどなぁと思わず声が出ました。「やさしく」という抽象的な意味をどのように子どもたちに伝えていくのか。言葉で「やさしく」と言うものの、果たしてそれが子どもの気持ちや感覚と繋がるのか・・・。

そんな中で、今まさに「やさしくする」ということの真ただ中にいる子どもたち。自然に出たそのしぐさや力加減、そこに向けられた感情など、全てひっくるめたその状態を言葉にできない子もいたでしょう。しかし、そこに「そんな風にやさしく」という担任の先生の言葉で、初めて子どもたちの中で、「やさしく」という言葉の意味や感覚、その時の気持ちなど、いろんなことが繋がって、「やさしくする」ということを全身で学びとっていきのだと改めて実感しました。

その後、友達になったモシャモシャくんと一緒に、お散歩したり、ジャンプしたり、変身ごっこをしたり・・・いろんなことをして楽しんだ子どもたち。そんな中でも、最初から最後までずっと、モシャモシャくんを大切する姿に、子どもたちの「やさしさ」の芽生えを感じることができました。

このように、今回の年少さんのエピソードは、モノとのかかわりでしたが、それは人とかかわりも同じだと思います。子どもたちは幼稚園の遊びや生活の中で、毎日いろんな人とかかわり、様々なことを感じ、考え、いろいろと自分なりに試しながら自分の世界を広げています。友達と一緒に過ごす中では、全てが楽しい、嬉しいだけでなく、思い通りにならなかったり意見が合わなかったりしたときに少し嫌な気持ちを抱いたり、友達とのけんかも経験していきます。もちろん「人にやさしく」、「みんなで仲良く」することが大切なのは言うまでもありませんが、初めからそれができるわけではありません。先ほどのモシャモシャくんを抱きかかえた年少さんが、体験と言葉がリンクしてその感覚を「やさしく」と全身で学んだように、子ども同士でも、日々の友達とかかわりや経験の積み重ね、嬉しい、楽しい経験だけでなく、悔しい、少し嫌な気持ちを経験するからこそ、それぞれの子どもの「思いやり」や「やさしさ」など、人とかかわる力を育てていくことができるのです。担任の先生は、時には間に入って、お互いの気持ちを代弁しながら、時には子どもたちだけで話して納得し合えるように見守りながら、その子その子の成長と学びを支えています。

木の実幼稚園の体育遊びも、技能習得だけを目的としているのではなく、「人とかかわって遊ぶこと」を大切な柱にしているのはその為です。もうすぐ運動会。できた、できない、上手、下手、勝った、負けたではなく、それぞれの子どもの心の成長をぜひ感じとっていただけると幸いです。



行事予定



1（水） 令和8年度新入園児願書受付開始

新規の方の受付開始時間は 10：30 から、在園卒園兄弟関係の方の受付は 13：00 からとなります。※出来る限り 1 日（水）中に願書をご提出ください。

現ナースリー組園児の方は、2 日（木）に受付致します。（別途案内済み）

3（金） **午前保育** ※午後から新入園児面接試験の為、保育終了後の預かり保育はありません。

9（木） お弁当日

10（金） **午前保育** ※午後から運動会準備の為、保育終了後の預かり保育はありません。

11（土） **運動会** <※雨天順延 12（日）～14（火）いずれか1日>

【 場所 】 阪南大学野球グラウンド（木の実幼稚園南側）

【開催時間】 第 1 部 8：30～10：40 <年少組・年中組>

第 2 部 11：00～12：30 <年長組>

※詳細は、別紙お知らせ致します。

14（火） **運動会の振替休日** 幼稚園はお休みです。

23（木） 年中組 遠足

24（金） 年少組 遠足 / 満3歳児クラス 遠足

30（木）・31（金） ナースリー組 遠足

詳細は別紙にてお知らせ致します。



お知らせ



☆運動会に向けて～

- ・1 日（水）からカラー帽を着用して登園します。詳細は「れんらくアプリ」に掲載しております。
- ・体操服や帽子に装飾を付けるのは禁止です。（帽子は、内側にのみ可。ただし、あくまで目印としての小さなもの）万一、付けて来られても外していただくことになります。

☆衣替えについて

- ・10 月 20 日（月）～31（金）までは、衣替えの移行期間とし、夏体操服（半袖ポロシャツ・青色短パン・カラー帽子）か冬制服（長袖ポロシャツ・チェックのズボンまたはスカート・ベレー帽）どちらでも着用可能と致します。（ただし、半袖体操服と冬制服のズボン・スカートの組み合わせは出来ません。）
- ・各学年の体育遊びの日は、夏体操服または冬体操服（長袖ポロシャツ・グレーのスウェット上下・カラー帽 ただし、暑い日は、上のトレーナーを着ずに、長袖ポロシャツのみでも結構です。）
- ・制服、体操服ともに冬服への完全移行は 11 月 4 日（火）からです。

☆年長組 就学前健康診断・私立小学校受験について

10 月から 12 月にかけて、各園児が進学する小学校で就学前健康診断が実施されます。各市からの通知の通り、各自で就学される小学校に健診を受けに行ってください。

この場合（就学前健診）と私学・国公立小学校の受験や子ども同伴での入学説明会に参加される際、保育終了時間より前に降園する場合は、早退扱いにはなりませんので、事前に必ず担任まで連絡ノートまたはお電話でお知らせください。

また、遠方等どうしても保育を休んで参加しなければならない場合は、公欠扱いになります。（私学受験の場合は、事前に受験票のコピーをご提出願います。既に私学受験をされた方で上記に該当する場合は、担任までお申し出ください。）